



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和5（2023）年6月22日 第4号

文責：校長 佐藤 正貴

話を聞くということ・・・。

私が小学生の頃、授業中に先生の話聞いていないときは、すごい剣幕（けんまく）で怒られていたことを覚えています。話を聞いていなかったのだから怒られて当然だと思う時があれば、怒られたことに納得できない時もあったと思います。その時の気分によって受け止め方も違っていったということです。大人になり、教師になって初めて、なぜ話を聞かないことで怒られたのか気づくことができました。怒るという指導方法？を肯定する訳ではありません。話を聞くことが大切であることを担任の先生は教えたかったのだと気づいたということです。伝えることが多くなった立場になって、初めて気がつきました。

学校での教育活動は、そのほとんどが、話を聞くこと若しくは自分から話をすることで活動がスタートします。聞いたり、話したりすることで、自分自身がしたいこと、やるべき事などを判断し、行動に移していきます。我々教職員は子どもたちに、発達段階に応じて、聞いたり話したりする力を身につけることの必要性を理解していくことを求めています。同時に教職員は、子どもたちが聞きたくなる話し方、話したくなる聞き方を教育技術としてだけでなく、教員としての資質の面でも磨いていく必要があります。

子どもたちも教職員も、このことが学びの土台となることを意識しながら毎日の学校生活を送っていくことが、学校教育を行う上で必要なことだと考えています。

もう一つ、話を聞く、言いたいことを伝えるということは、心を成長させるという点でも大切になってきます。相手の話を聞くということは、相手を大切にしているということです。伝えたいことを相手が理解できるように丁寧に話すということも、相手を大切にしているということです。相手を大切にできる心が育った学級集団は、互いの学びを大切にできる態度や思いやりの心が身につく、それに伴い学力も向上していきます。

話を聞きなさい！、分かるように話しなさい！ではなく、相手の気持ち、感情、その場の状況、授業中なのか休み時間なのか・・・等、人や周囲の様子、その時間の状況に気を配りながら、聞いたり話したりできる力を身につけることを目指しています。

小中一貫教育の充実に向けて

合同会議

小中一貫教育を進めていく上で、重点的に取り組む事を西合志中学校、西合志第一小学校と確認しながら進めています。年度当初に合同会議を行い、年間の計画を立てました。現在は、計画に基づきながら取組を進めているところです。

重点取組の1つに小小連携があります。大きな目的は2つです。1つ目は、中学校に入学するとき、何を学び、どんな力を身につけておくべきなのかということを抑えておくことにあります。学びに必要な学習規律や規範意識が身につけていけば、中学校に入学してからの指導の必要はありません。2つ目は、両小学校の児童が少しでも深く知り合っているならば、知らないよりも安心して入学することができると考えているからです。このような理由から、今年度は、行事だけでなく、日常の活動でも交流授業を進めています。この取組は、6年生だけでなく全学年で進めていきます。大きな行事としては、1～4年生までの見学旅行、5年生の集団宿泊教室、6年生の修学旅行を合同で行います。



3年生授業交流